

ハサナダゴケ

Plagiothecium denticulatum (Hedw.) Schimp.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… —

■ 県内分布

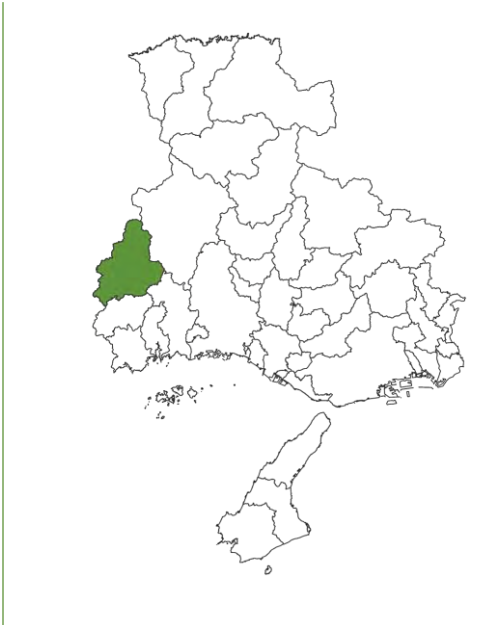
佐用町

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

現地調査で未確認。乾燥化の進行で絶滅か。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

植物体はやや大型で、地面に平たいマットをつくる。葉はやや光沢があり、ふつう扁平につき、長さ1-1.6mm、卵状披針形で明らかに非相称、鋭頭、基部は幅広く茎に下延し、下延部の細胞は矩形から円形、最下端の細胞も三角形にならない。中肋は短く2叉する。上部の葉縁に小さな歯がある。葉身中部の細胞は長菱形から長六角形、幅10-15μm。雌雄同株(異苞)または異株。蒴柄は長さ20mmほどの長さがあり、蒴は傾いてつき、やや非相称。岩上、地上、まれに樹木の基部に生育する。